

---

 紹 介
 

---

# 歯科衛生士学科の学生気質と教育課題

山 田 隆 文

明倫短期大学 歯科衛生士学科

## Student's Disposition and Educational Subjects on the Department of Dental Hygiene

Takafumi Yamada

*Department of Dental Hygiene and Welfare, Meirin College*

キーワード：エゴグラム，交流分析，気質，教育課題

Keywords：Egogram, Transactional Analysis, Disposition, Educational Subjects

### 1. はじめに

心理学の講義の中で，医療面接技法の講義・演習を行っている．3つの役割軸の一つであるラポールの構築には，患者さんの心理状態（感情）に注意をはらう（共感する）というポイントがある．しかし，他人の心の状態を知る前に，まず自分自身の気質や感情について知ることが優先である．そこで，学生が自分自身を客観的にみていくための一手段として，いくつかの自己分析を行わせているので，その結果を供覧する．

### 2. 方 法

今回は，交流分析（エゴグラム），及び，行動特性について取り上げる．明倫短期大学歯科衛生士学科8回生を対象とし，講義の際に施行した心理テストの自己採点を行わせた．個人情報保護の観点から無記名で，結果のみを集め，集計した．

#### 1) エゴグラム

エゴグラム<sup>1~3)</sup>は，1957年アメリカの精神分析医Eric Burnが創案した精神理論・行動理論で，自我をCP (FP) (批判的・権威的な父親)・NP (MP) (保護的・母親的な親)・A (大人)・FC (自由な子供)・AC (順応した子供)の5つに分類し，分析する．現在では，交流分析:TA (Transactional

Analysis)として，心理コミュニケーションを円滑にする精神療法の一つとして用いられている．今回は，加藤<sup>3)</sup>による質問票を用いた．

#### 2) 行動特性尺度<sup>4~7)</sup>

##### ① 対人依存型行動特性（心の依存度）

独立心の有無，物事を自分で決められない依存心の有無を測定するテストである．

##### ② 自己抑制型行動特性尺度（イイコ度）

このイイコは，教員や親などの言いつけを守り，悪い行動をしない，しつけの行き届いた優等生を意味する．ただ，本来の欲求が抑制されていることが多い．

##### ③ 問題解決型行動特性尺度

何かトラブルに陥ったとき，自分の力で可決ができるかどうかの尺度である．

##### ④ 自己価値観尺度

自己イメージが良い，つまり，自分自身に自信を持っているか，自信がないかを意味している．

上記4つの行動特性について，宗像ら<sup>4~7)</sup>の質問票を用いた．

### 3. 結 果

#### 1) 交流分析（図1）

N型（36.6%）（図2）・M型（33.3%）（図3）

が多い傾向にあった。共に、優しさを持つMPが高く、医療従事者としては非常に好ましい傾向である。しかし、N型ではFCが抑圧され、ACが高く、イイコが多い。一方で、M型はFCは高いがAが低い。少数ではあるが、V型・W型・逆N型なども認められた。

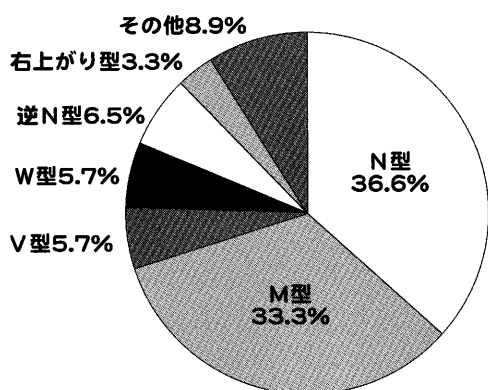


図1 交流分析結果の解析 (n=122D)

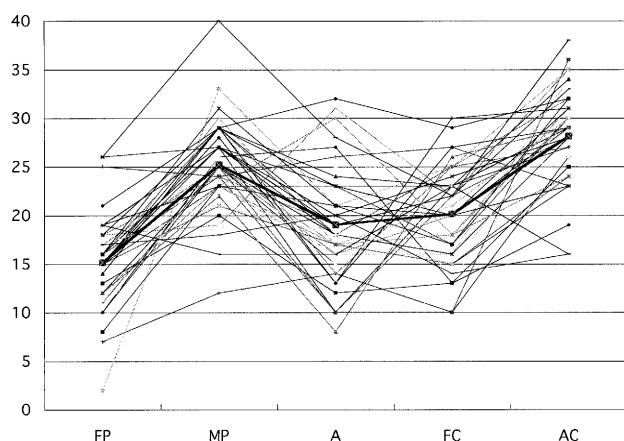


図2 交流分析結果N型 (n=45D)  
(太線は平均値)

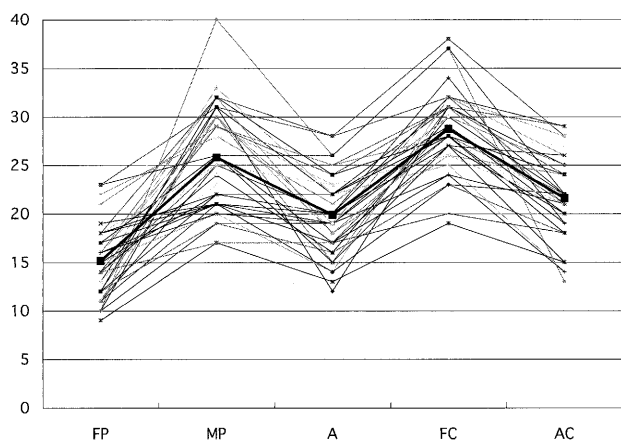


図3 交流分析結果M型 (n=42D)  
(太線は平均値)

## 2) 行動特性尺度 (図4)

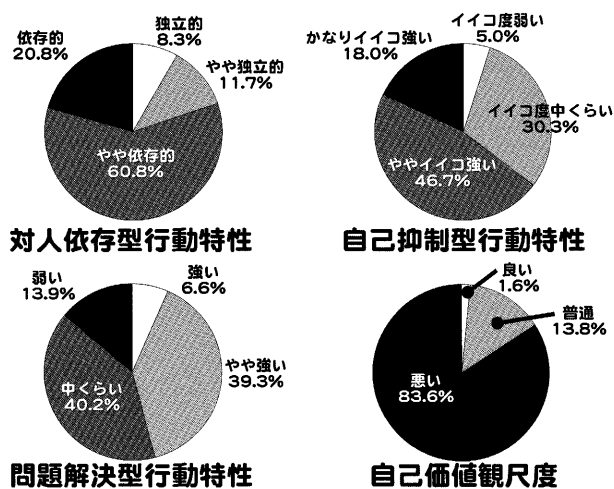


図4 行動特性結果 (n=123D)

### ① 対人依存型行動特性 (心の依存度)

依存的であると答えたものが20.8%, やや依存的と答えたものが60.8%と、依存心を持つ学生が80%を超えており、独立心のある学生は8.3%と非常に少ない傾向にある。

### ② 自己抑制型行動特性尺度 (イイコ度)

かなりイイコが18.0%, ややイイコが46.7%と、イイコが64.7%を占め、イイコ度の弱いのは5%にとどまり、自己抑制の強い傾向にある。

### ③ 問題解決型行動特性尺度

問題解決のできるのはわずか6.6%, 弱い13.9%, 中くらいが40.2%であった。

### ④ 自己価値観尺度

良いはわずか1.6%であり、83.6%の学生は自分に自信を持っていないという結果であった。

## 4. 考 察

本学学生の気質は、エゴグラム結果でみるように、全般的に優しさは十分に持ち合わせている。一方で、医療従事者として理想的な優しさと自由さを発揮する学生 (M型) と、自由を抑圧された学生 (N型) とに大別されている。

M型・N型の特徴は、ともに、低いAを持っていることである。しかし、この部分は、知識や経験を積むことにより培われて上昇する部分であり、今後の教育方法が大きな鍵を握っている。

少数ではあるが、交流分析のV型・W型 (極端なイイコ)・逆N型は、これに反逆する、あるいは、自己崩壊に近い形であり、フォローアップを必要とする注意をすべき気質も潜在している可能性がある。

もう一方の行動特性尺度は、日本予防医学協会はじめ、歯科医療倫理（最新歯科衛生士教本）<sup>7)</sup>などでも応用されている自己分析方法のひとつである。本学学生の行動特性の特徴は、全体として、他人への依存心が強く、教員や他人の目を気にして自己の欲求を抑圧してしまうイイコ（自己抑制型行動特性が高い）であり、トラブルに直面したときに一人では解決できず、また、自分自身にも自信を持っていないという傾向が示された。イイコ（高いAC）の裏側にある自己抑制（低いFC）から、自由な発想が表出しにくい環境にあるのではないかと推察される。

我々が使用する「イイコ」という表現は、教員の言いつけをよく守り、遅刻も忘れ物もなく、迷惑をかけない優等生を意味する。しかし、大辞林や大辞泉を紐解くと「子供を褒めたり、なだめすかししたりする時に言う」「自分だけがよく思われるように振る舞う人」というマイナス表現の意味しかない。「イイコだから静かにしてね」「彼は自分だけイイコになろうとしている」などという用語例があげられているところが興味深い。教員としては、イイコの裏側にある抑圧された欲求に気付くことが、学生の個性を伸ばしていくための最良の方法であると思う。もちろん、各々の学生の個性に対応していく為には、教員自身の発想の転換（ファカルティディベロップメント）が重要な課題となることは言うまでもない。

近年、古くは企業研修などで用いられた方法であるKJ法<sup>8~10)</sup>が、医療分野でも急速に再注目されている。学生自身に課題を与えて問題点を特定させ、それを、重要度、緊急度などで整理をして、ブレインストーミングをする教育方法である(図5)。今後、

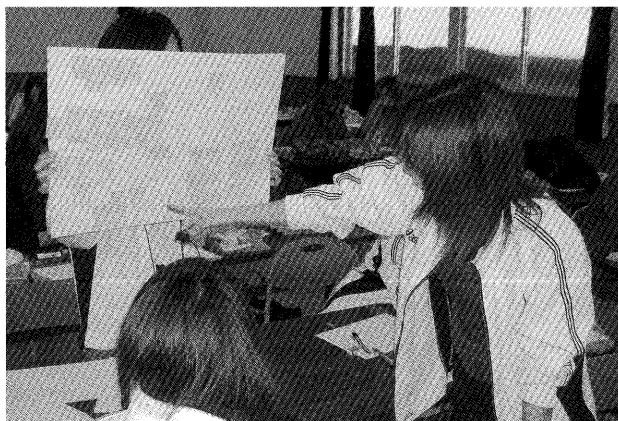


図5 2005年度の歯科予防処置総論講義の際のKJ法による学生発表風景

詰め込み偏重の教育ではなく、学生の考える力を引き出せるような教育の一つの方法となる可能性がある。

以上のような学生気質の分析から、自立心と自由さを兼ね備え、自分で問題解決できるような、歯科衛生士という職業に自信を持てる学生をいかに育てていくかということが、歯科衛生士学科3年制に向けての大きな課題であると考えられる。

最後に、皇室の子育てにも役だったということで注目された興味深い「子供が育つ魔法の言葉」<sup>11)</sup>という著作がある。その中でドロシー・ロー・ノルトは「大人の振るまいそのものが子供の心を育てるのだ」と述べている。厳しさをもって優しさを教えることはできない。ただ「やれ!」ではなくて、教育者自身が良いお手本（患者さんへの優しい対応など）を実践して見せることこそ、最高の教育であると私は信じている。

なお、この一部は明倫短期大学学会第16回月例研究会（2005年7月）にて発表した。

## 文 献

- 1) ジョン・M・デュセイ：エゴグラム。創元社、大阪、1982
- 2) 杉田峰康：交流分析のすすめ。日本文化科学社、東京、1990
- 3) 加藤浩一：TAを楽しむ本 心のおしゃれ1～7。新日本教育図書、山口、2001
- 4) ヘルスカウンセリング学会編：ヘルスカウンセリング事典。日総研、名古屋、1999
- 5) 宗像恒次：自己カウンセリングで成長する本、DANば、東京、1998
- 6) 宗像恒次監修：歯科衛生士のためのヘルスカウンセリング。40～46頁、クインテッセンス出版、東京、1998
- 7) 全国歯科衛生士教育協議会編：歯科医療倫理。医歯薬出版、東京、2004
- 8) 川喜田二郎：発想法。中公新書、東京、1967
- 9) 川喜田二郎：続 発想法。中公新書、東京、1970
- 10) 片野志保、田邊智子：歯科衛生学科生のもつ高齢者への意識の違いに応じた高齢者歯科教育の検討。日歯教誌、21、85～95、2005
- 11) ドロシー・ロー・ノルト：子供が育つ魔法の言葉。PHP文庫、東京、2004